

BIツールによる演習あり！

製造業のIoT活用セミナー(品質保証編)

品質保証強化のためのIoT活用のポイント

近年、製造業では、IoT(Internet of Things:モノのインターネット)への関心が高まっており、国をあげてIoTを推進する動きが活発化しています。特に「品質向上と品質強化」や「生産性向上」を実現するためにIoTを活用することが必要不可欠になっています。しかしながら、「IoTを導入してみたが、暗礁に乗り上げている」「IoTで収集したデータの活用方法が分からない」という声をよく聞きます。

そこで、本研修では品質保証におけるIoT活用のポイントと具体的なステップを解説します。また、座学での基礎学習だけではなくBIツール「PowerBI*」を用いて「デジタルQC7つ道具」を用いた品質保証強化や設備稼働データを用いた生産性可視化のためのデータ活用・解析体験をしながらIoTデータ活用におけるBIツールの活用方法について理解することを目指しています。

*PowerBIはMicrosoft社が提供しているBI(ビジネスインテリジェンス)ツールです。

<こんな方におすすめ>

IoTを既に導入しておりデータの活用方法で悩んでいる方

IoTによって品質強化を実現したい製造現場のIoT推進リーダー／メンバー

IoTを上手に活用したいスマートファクトリー推進リーダー／メンバー

【注】コンサルタント業の方の参加申込みは、ご遠慮下さい。

日時 2025年10月28日(火) 10:00～17:00

会場 (公財)関西生産性本部 会議室 (大阪市北区中之島)

講師 第一部 株式会社アムイ 代表取締役 山田 浩貢 氏
第二部 株式会社アムイ 直 燎 氏

参加費 (1名につき) 関西ならびに他地区IE協会会員 44,000円(税込) 【注】
生産性本部賛助会員 49,500円(税込) ○消費税、テキスト代を含みます。
一般(会員外) 55,000円(税込) ○昼食は各自でお取りください。

実習ではPowerBIを用いた分析体験を行います(事前にソフトのインストールが必要です)。
受講者1名につき、PC(Windows10または11)1台をご持参ください。

お申込方法 申込締切日 2025年10月21日(火)

- 裏面「参加申込書」にてお申込み下さい。また、下記HPからも申込み可能です。
- 「参加証」、「会場略図」ならびに「請求書」は、参加者宛に開催日の約2週間前から発送致します。
【注】上記発送後はキャンセルはお受けできませんので(参加費全額をお支払い)、代理者のご派遣をお願い致します。
※参加費は「請求書」に記載の期日までに指定銀行へお振り込み願います。
- 本セミナー当日の録音・録画、写真撮影はご遠慮下さい。

個人情報の取扱いについて

①参加申込によりご提供いただいた個人情報は、当本部の個人情報保護方針に基づき、安全に管理し、保護の徹底に努めます。②個人情報は、本事業実施に関わる資料作成、ならびに当本部が主催・実施する各事業におけるサービス提供や事業のご案内および顧客分析・市場調査のために利用させていただきます。③本事業実施に関して必要な範囲で参加者名簿等の資料を作成し、当日講師、参加者等の関係者に限り配付させていただきます(法令に基づく場合などを除き、個人情報を第三者に開示、提供することはありません)。④個人情報の開示、訂正、削除については、個人情報保護担当窓口(TEL06-6444-6461)までお問合せください。⑤記載事項の無断転載をお断りします。

お問い合わせ

公益財団法人 関西生産性本部 関西IE協会 (担当 金谷(かなや)・有本・西村)

〒530-6691 大阪市北区中之島6-2-27 中之島センタービル28階

〈TEL〉06-6444-6464 〈FAX〉06-6444-6450

【HPからお申込みもできます】

<https://www.kpcnet.or.jp/kiie/>

KPC

公益財団法人 関西生産性本部
KANSAI PRODUCTIVITY CENTER

第一部 品質向上+品質強化のためのIoT化

講師 株式会社 アムイ 代表取締役 **山田 浩貢 氏**



ITベンダーにて製造業における生産管理パッケージシステムの企画開発・ユーザー適用及び大手自動車部品メーカーを中心とした生産系業務改革、原価企画・原価管理システム構築のプロジェクトマネジメントに従事。2013年㈱アムイを設立し大手から中堅中小製造業の業務改革、業務改善に伴うIT推進コンサルティングを手がけている。「現場目線でのものづくり強化と経営効率向上にITを生かす」活動を展開中。トヨタ流のカイゼン技術をもとに、IT／IoTのコンサルタントとして業務診断、業務標準の作成、IT／IoT活用システム規格構想立案、開発、導入を推進している。書籍「製造業のIoT活用Q&A: IoTのお悩み、解決します!」(日科技連出版社)など多数。

- ①品質保証強化のステップ
- ②製造品質の課題
 - ・製造品質の課題
 - ・設計品質の課題
- ③デジタル化に向けての課題
- ④製造品質強化のあるべき姿
- ⑤製造品質強化における収集・蓄積のポイント
 - ・製造品質強化のポイント
 - ・品質保証強化の管理ポイント
 - ・情報収集のポイント(収集の目的と収集項目の定義、情報の2S、バックアップとリカバリ)
- ⑥IoT導入における活用(解析)のポイント
 - ・QC7つ道具のデジタル化
 - ・デジタルQC7つ道具の特長
 - ・グラフの種類
 - ・リアルタイム判定と多角解析
 - ・定型解析と非定型解析
 - ・要因特定の迅速化
 - ・トレーサビリティによる影響範囲特定
 - ・IoT導入におけるISO9000維持上のメリット
- ⑦品質保証のデジタル化による想定効果

第二部 PowerBIを用いたデータ可視化・分析体験

講師 株式会社 アムイ DX教育グループ／IoTソリューショングループ リーダー **直 燎 氏**



2019年4月に株式会社アムイに入社。製造業におけるIT/IoTシステム開発・導入にシステムエンジニアとして従事。大手～中堅中小製造業、大学法人向けにラズベリーパイを活用したIoTシステムの導入に従事し 約100台の設備への導入を担当。全国の工業団体、研修機関向けのラズパイ、PowerBIのIoT実習の講師を50回程度担当。

- ①BIツールとは
 - ・BIツールとは何か
 - ・BIツールとExcelの違い
 - ・よく利用されるBIツール製品の特長
- ②PowerBIとは
 - ・PowerBIとは
 - ・PowerBIの特徴
 - ・PowerBIのライセンス体系
- ③PowerBIの基本操作
 - ・PowerBI Desktopを開いてみる
 - ・グラフを表示させてみる
 - ・グラフの表示を切り替えてみる
- ④トレンドチャートグラフの作成(可動率、不良率)
 - ・表示項目の追加
 - ・チャートの色設定
 - ・データ表の追加
- ⑤不良実績パレート図の作成
 - ・パレート図とは
 - ・グラフの追加
 - ・グラフに表示する各項目の設定
 - ・各種書式設定
 - ・不良数の累積の仕方
- ⑥より高度なグラフ表現の紹介(デモ)
 - ・ヒストグラムの例
 - ・相関図の例

(公財)関西生産性本部 西村 行 FAX: 06-6444-6450
2025年度「製造業のIoT活用セミナー(品質保証編)」参加申込書(10/28開催)

		申 込 日	年 月 日
(ふりがな) 組織名	()	会 員 区 分 (ご加入の場合、○印をお付けください)	関西・日本・中部・九州IE協会
			()生産性本部
			一 般
派 遣 者	事業所名、所属・役職名	氏 名(ふりがな)	
		()	
	【所在地】(〒 -)	E-mail:	
		TEL:() - FAX:() -	
参 加 者	事業所名、所属・役職名	氏 名(ふりがな)	
		()	
	【所在地】※「派遣責任者」と異なる場合のみ、ご記入ください。 (〒 -)	E-mail:	
		TEL:() - FAX:() -	